




よみがえる萩外荘



株式会社 竹中工務店  
設計本部 アドバンストデザイン部  
伝統建築グループ 山野敬史

- 
- 1\_ 「荻外荘」と復原整備事業の概要
  - 2\_ 「荻外荘」の基礎知識
  - 3\_ 「荻外荘」の復原整備に関する考え方
  - 4\_ 「荻外荘」の復原整備工事

表紙写真（左）：個人蔵  
表紙写真（右）：杉並区提供

## 1\_「荻外荘」と復原整備事業の概要

## 2\_「荻外荘」の基礎知識

2-1\_「荻外荘」建設に至る背景

2-2\_「荻外荘」の場所的価値

2-3\_「荻外荘」の建築的価値

2-4\_創建時の「荻外荘」にみる建築的特徴

2-5\_「荻外荘」に関する新発見

## 3\_「荻外荘」の復原整備に関する考え方

3-1\_修理の方法と復原/復元の考え方

3-2\_軸組の復原

3-3\_内装の再現(客間が主)

3-4\_復原の社会的意義

## 4\_「荻外荘」の復原整備工事

4-1\_豊島区での解体工事と部材の保管

4-2\_復原整備工事のプロセスと各種工事内容

4-3\_復原整備工事における製作物について





## 1\_「荻外荘」と復原整備事業の概要

### 2\_「荻外荘」の基礎知識

2-1\_「荻外荘」建設に至る背景

2-2\_「荻外荘」の場所的価値

2-3\_「荻外荘」の建築的価値

2-4\_創建時の「荻外荘」にみる建築的特徴

2-5\_「荻外荘」に関する新発見

### 3\_「荻外荘」の復原整備に関する考え方

3-1\_修理の方法と復原/復元の考え方

3-2\_軸組の復原

3-3\_内装の再現(客間が主)

3-4\_復原の社会的意義

### 4\_「荻外荘」の復原整備工事

4-1\_豊島区での解体工事と部材の保管

4-2\_復原整備工事のプロセスと各種工事内容

4-3\_復原整備工事における製作物について

# 荻外荘復原整備事業概要



荻外荘創建時の外観写真

日本建築学会建築博物館蔵

建物名称	: 荻外荘（創建時の名称は「楓荻荘」「楓荻凹処」）
居住者	: 入澤家（入澤達吉）昭和2年（1927）～昭和12年（1937） 近衛家 昭和12年（1937）～平成25年（2013）
設計者	: 伊東忠太（書斎改修設計者：長谷部鋭吉 昭和16年）
施工者	: 竹中藤右衛門（竹中工務店）
建築年	: 玄関棟、客間棟、居住棟
構造	: 木造
建築面積	: 主屋 386.80m <sup>2</sup> （111.56坪）、玄関棟/客間 215.66m <sup>2</sup> （62.25坪）
文化財区分	: 平成28年（2016）史跡指定

- ・「荻外荘」（命名は西園寺公望）は内閣総理大臣を3度務めた近衛文麿の住まいとして、さらには荻窪会談等歴史的に重要な会談が行われた場所として有名。
- ・昭和2年（1927）に建てられた木造住宅で、伊東忠太が設計し、竹中工務店が施工（棟札が現存）した。
- ・最初の所有者は、大正天皇の侍医を務めた入澤達吉で当時の住宅の名称は「楓荻荘」であった。
- ・近衛文麿が亡くなったのち、次男の通隆が住宅を相続し、昭和35年（1960）建物の半分が豊島区に移築されていた。
- ・令和元年（2019）に「荻外荘公園整備基本計画」が策定され、豊島区に移築されていた建物を荻窪の元の位置に再移築し、昭和12年（1937）から20年（1945）の姿に復原される予定。
- ・復原整備設計・監理：株式会社 文化財保存計画協会  
復原整備施工：株式会社 竹中工務店



## I\_「荻外荘」と復原整備事業の概要

- ・ 立地
- ・ 歴史的変遷
- ・ スケジュール





# 荻外荘の立地





# 荻外荘の立地





# 荻外荘の立地







工事前の荻外荘





荻外荘完成イメージ ※杉並区提供



# 荻外荘の歴史的変遷

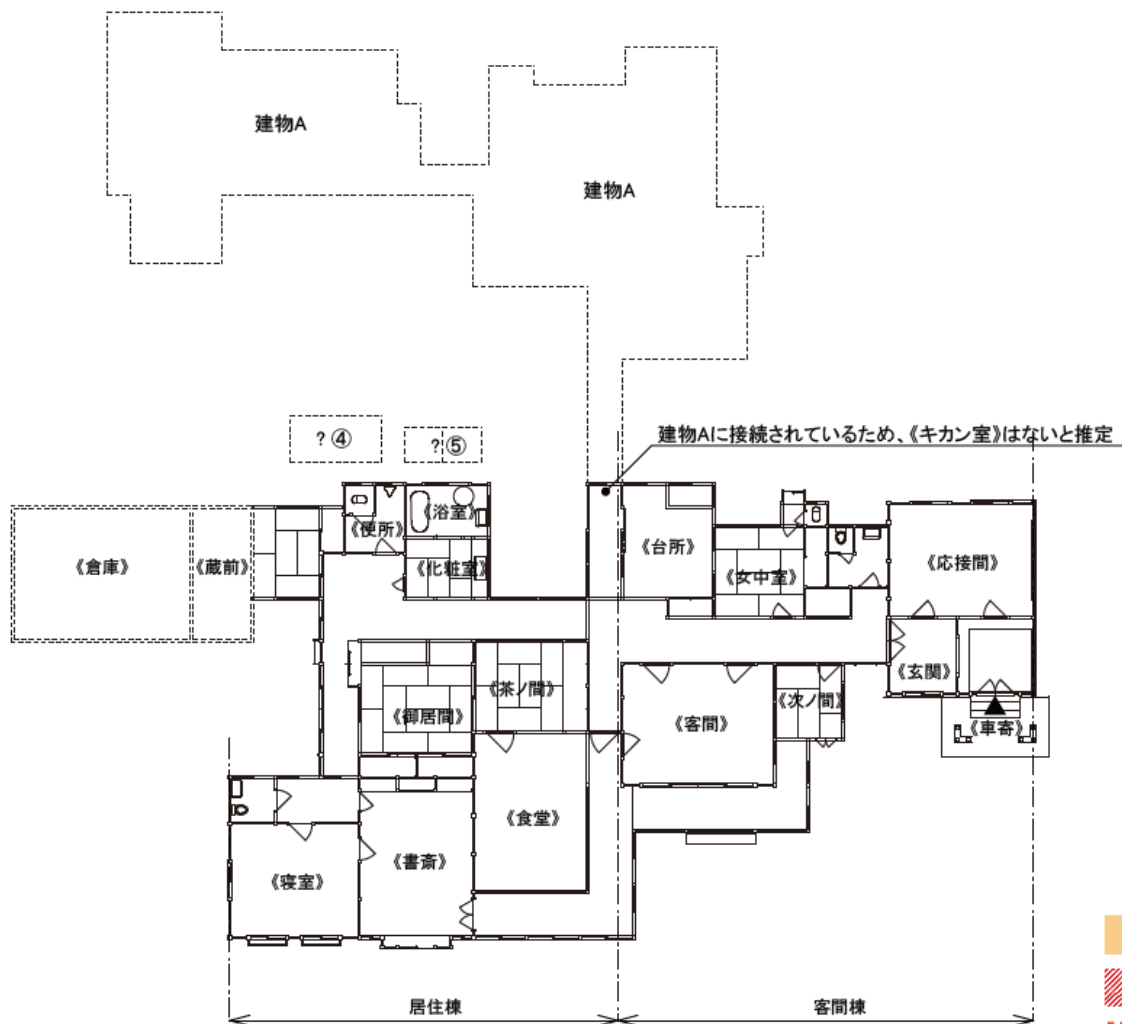
	居住者	期間	和暦	西暦	建物の履歴
①	入澤家	第Ⅰ期	昭和2年～5年	1927～30	創建。建物は昭和2年に上棟、竣工。
		第Ⅱ期	昭和5年～12年	1930～37	北側附属屋を改変。台所を増築。昭和12年近衛家に譲渡。
②	近衛文麿	第Ⅲ期	昭和12年～16年	1937～41	西側別棟と蔵、次の間を増築。（「荻外荘」と命名。） 正門を西側に移築。
		第Ⅳ期	昭和16年～20年	1941～45	昭和18年頃に書斎・寝室・玄関等の改修。
③	近衛家	第Ⅳ期	昭和20年～35年	1945～60	
		第Ⅴ期	昭和35年～45年	1960～70	玄関・客間棟を豊島区に移築。北側に玄関を増築。 西側別棟にも玄関を増築。
		第Ⅵ期	昭和45年～	1970～	近衛家による荻外荘の改修

荻外荘保存活用計画に基づき、この年代の状態に復原予定



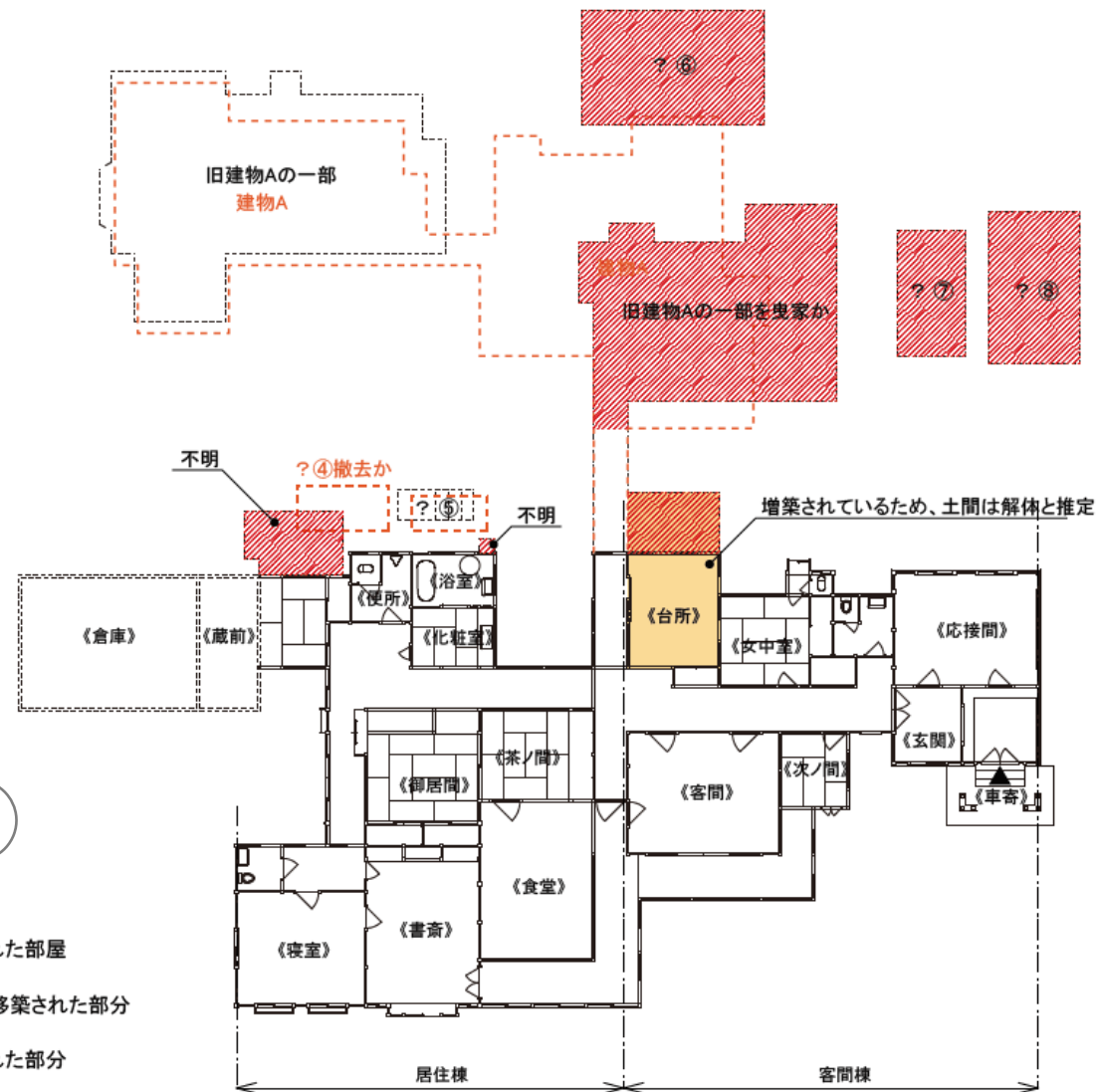
① 第I期1927-1930

昭和2年に上棟、竣工



第II期1930-1937

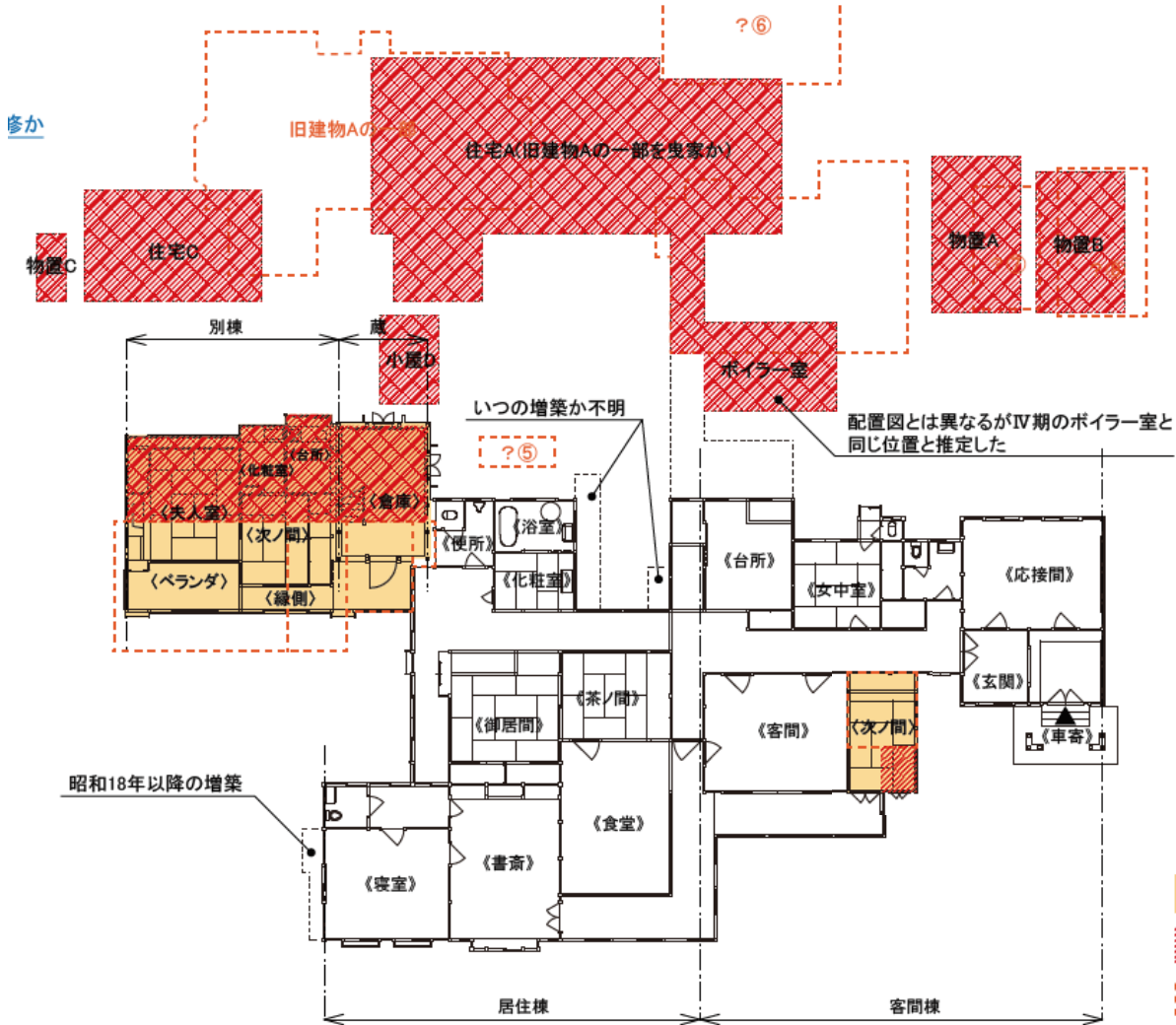
北側附属屋改変・台所増築



※荻外荘公園整備基本計画に掲載された図版を加工

② 第Ⅲ期 1937-1941

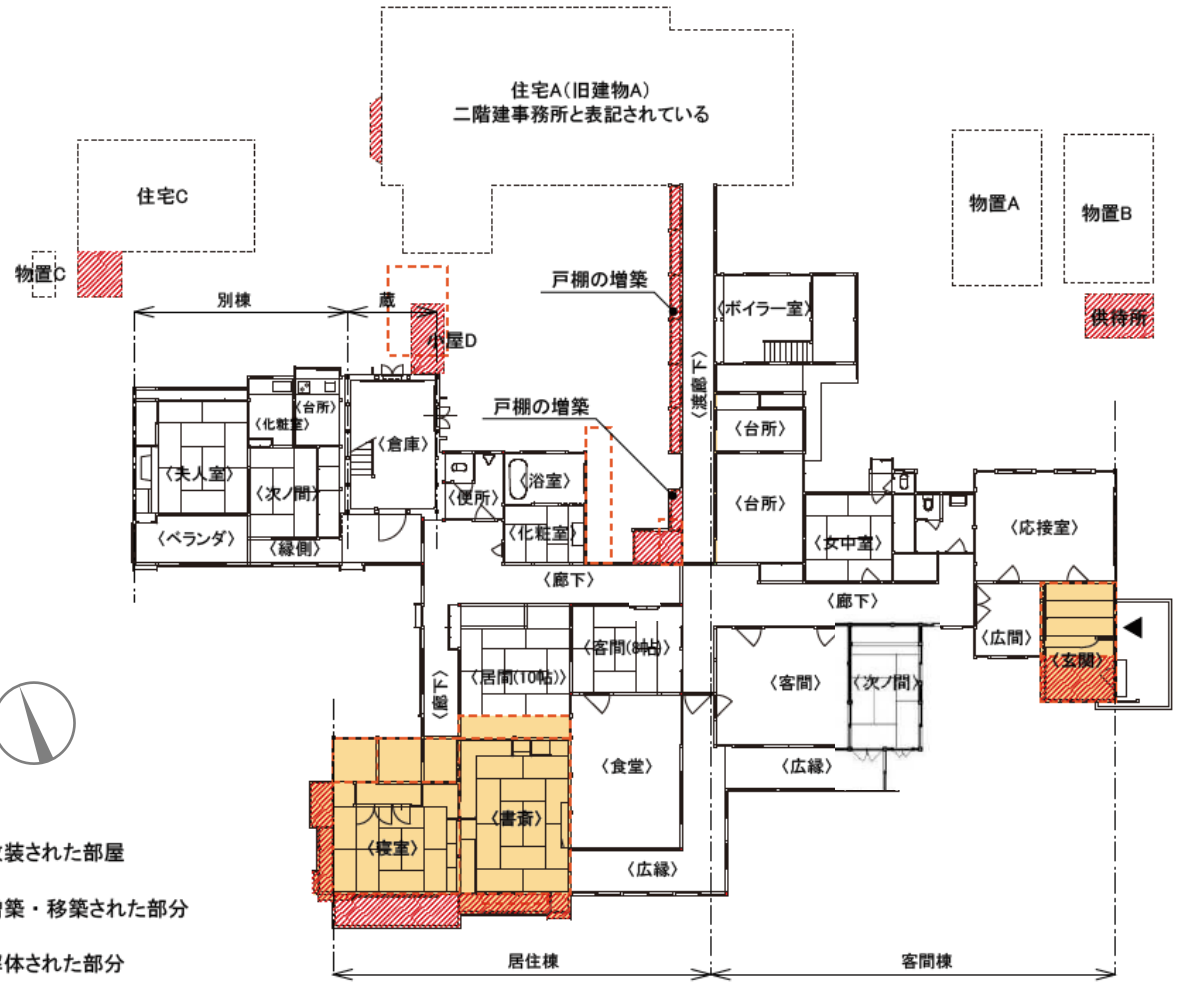
近衛文麿が荻外荘を購入  
西側別棟, 蔵, 次の間の増築



第Ⅳ期 1943-1945

1945-1960

書斎・寝室を和室に改修  
玄関の位置変更



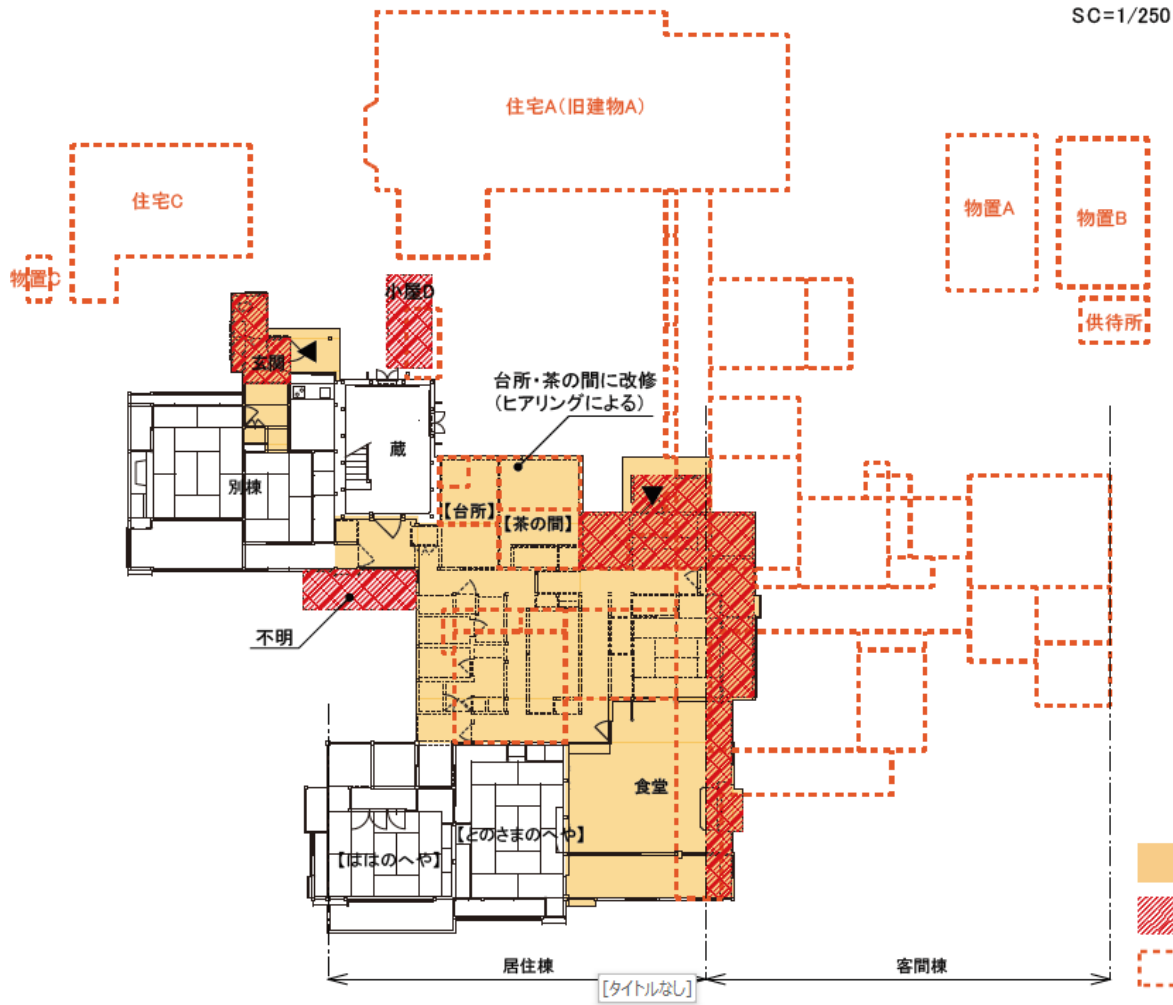
※ 第Ⅲ・Ⅳ期の姿に復原予定

※ 荻外荘公園整備基本計画に掲載された図版を加工



### ③ 第Ⅴ期1960-1970

客間棟を豊島区へ移築  
 ※天理教東京教務支庁舎に移築

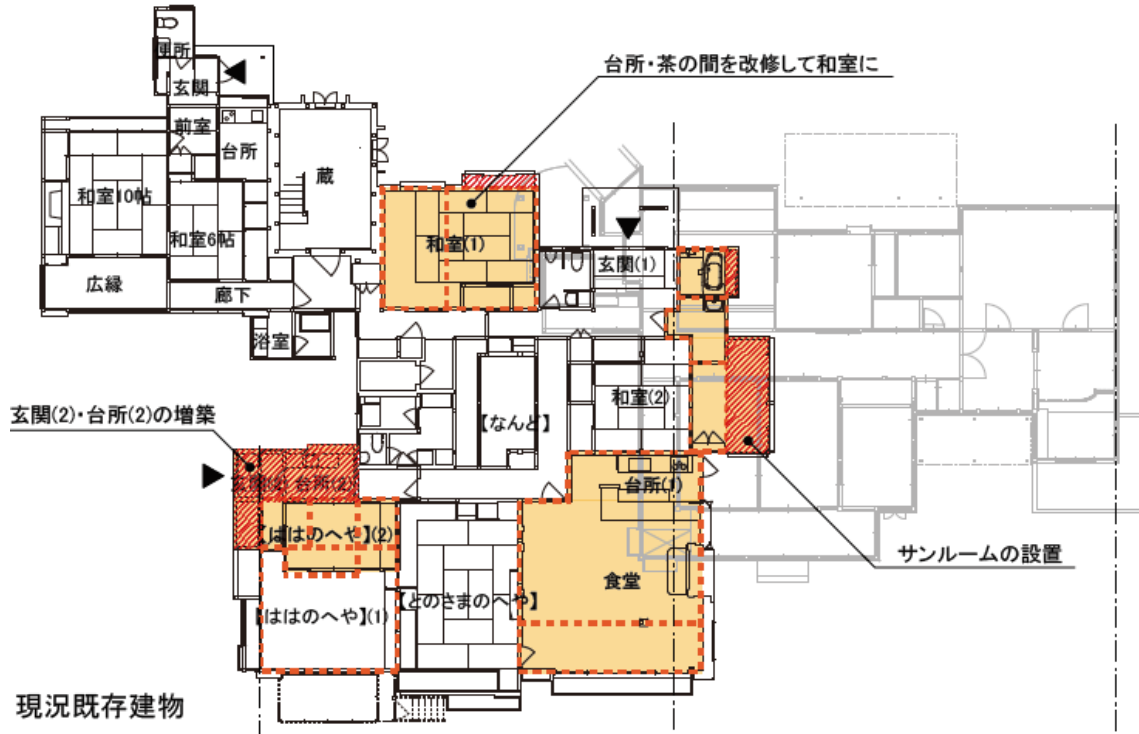


### 第Ⅵ期1970-現在

近衛家による内装改修  
 台所・和室の改修  
 サンプルームの設置



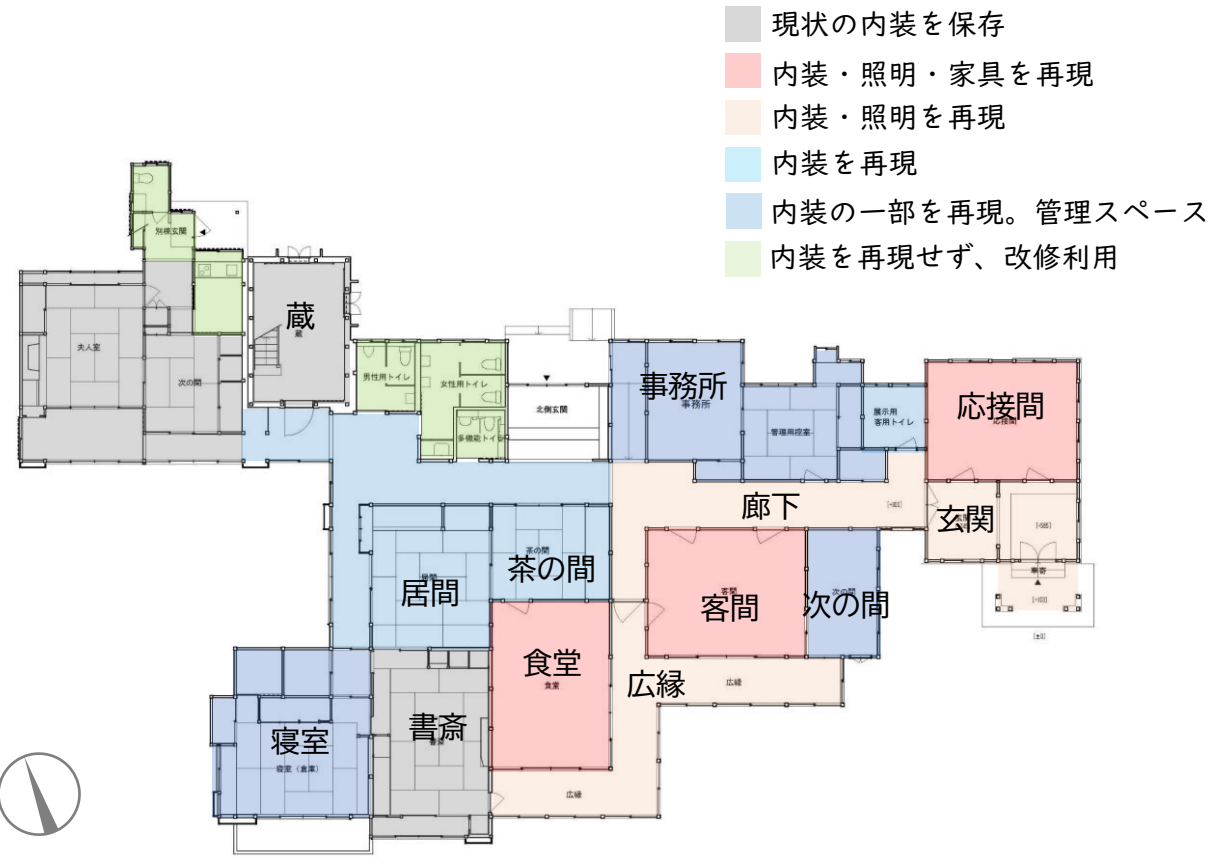
### ③ 第Ⅵ期1970－現在



現況既存建物

- 改装された部屋
- 増築・移築された部分
- 解体された部分

### 2024年12月以降(Ⅲ・Ⅳ期に復原予定)



※荻外荘公園整備基本計画に掲載された図版を加工

杉並区教育委員会 荻外荘復原・整備プロジェクト・ホームページより  
<https://www.city.suginami.tokyo.jp/kyouiku/bunkazai/tekigaiso/fukugen/seibiimage/index.html>



# 荻外荘復原整備工事スケジュール

